

“ふるさとちば”のための政策推進を



# いとうかずお 千葉県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



## 香取市特集

医療改革戦略会議」の座長に選任され、昨年、森田知事に対し、医療行政部門を「部」として独立させることを求めた「緊急提言」を行いました。伊藤県議は「医療崩壊から子どもの命を守るのは森田県政の重要政策。早急な解決を求める」と党を代表して発言しています。伊藤県議の主な質疑を特集しました。

昨年、県政を揺るがした県職員による不正経理問題で、調査特別委員長として、らっ腕をふるった香取市選出の伊藤和男(いとう・かずお)県議は、12月県議会で質問に登壇し、地域医療の最大課題になっている医師不足の解消に向け、抜本策をただしました。また、伊藤県議は、自民党県議35名で組織された「千葉県地域

# 県民の命を守る公約実現を!

### 12月県議会一般質問

## 医師不足の打開策求め論議

伊藤議員 県民アンケートでも、県民は医療と福祉に大きな期待を寄せていることがはっきりと示されています。森田知事は選挙の際、県民の命を守ると公約を掲げました。東京湾アクアラインの料金引き下げでは、見事に公約を果たしましたが、現在の医師不足は、千葉県のみならず、全国的問題となっています。県民の命を守るため、医師不足の打開策に関連し、メデイカルスクールについて、どう考えているのか。

健康福祉部長 医師確保対策として、県内でのメデイカルスクールの創設は、有効な選択肢の一つと考えられますが、現在、学校教育法及び大学設置に係る国の認可基準では、医師養成施設の新設は認められていないところです。

また、メデイカルスクー

## 医学部新設の可能性

伊藤議員 新聞報道によれば、成田市が大学を誘致し、医学部を設置するとの考えがあるようですが、県にも相談があったと思うが、この大学誘致を県はどのようにとらえているのか。

70年代に国は、医大を1県1校配置することとしてきました。630万県民の千葉県と、59万人の鳥取県も同じ1校では、そもそも矛盾があるのではないかと。これでは地域によって平等な数字ではなく、医師確保に真剣に対応しなければならぬと思いませんか。

健康福祉部長 医学部の新設は、医師確保の有効な対策だと思いますが、メデイカルスクール同様に大学設置等に係わる国の認可基

準では、医科大学や医学部の新設は、認められていないところです。

また、医学部を新設する場合には、1学年60名の定員としても、136名以上の専任教員が必要になるとともに、併設する病院や資金確保など多数の課題があります。

県としても、国や成田市の動向を注視しつつ、適切に対応してまいりたいと考えています。

**要望** 森田知事には、命を守る千葉県の医療システムを確立してもらいたい。また、千葉大学との関係強化し、千葉県の医療システムの充実をお願いします。

## 市民の声を県政へ

●県政や香取市のご相談はお気軽にどうぞ

〒287-0005 香取市佐原ホ1219-4  
TEL.0478-54-3123  
FAX.0478-54-3122

**いとう和男** 県議事務所

# 県政に一直線！いとう和男

香取市特集

12月県議会一般質問

かずお

## いとう和男県議プロフィール

- 経歴○
- 昭和22年12月佐原市生まれ
- 慶應義塾大学法学部卒業
- 27歳で佐原市議会議員(1期)
- 千葉県議会議員(6期)
- 自民党千葉支部組織委員会副委員長
- 自民党千葉支部青年局長
- 自民党千葉支部副幹事長
- 香取農業共済組合組合長
- 千葉県農業共済組合連合会会長などを歴任

- 現在○
- 総合企画、水道常任委員会委員
- 議会史編さん委員会委員長
- 自民党県議会議員会会長
- 千葉県地域医療改革戦略会議座長
- 私学振興、生活衛生、農政問題、建設問題、畜産研究会、スポーツ振興、医療問題などを担当

**いとう和男後援会事務所**  
 〒287-0005 千葉県香取市佐原ホ1219番4  
 TEL.0478(54)3123  
 FAX.0478(54)3122  
 〒289-0311 千葉県香取市八日市場158番地  
 TEL.0478(83)6487  
 FAX.0478(83)6485  
 E-mail: kit110kt@yahoo.co.jp

## 成田空港

# 国際線の基幹空港に変化なし！

## 成田の位置づけで知事答弁

**伊藤議員** 羽田空港の国際化によって、国を挙げて羽田、羽田と言っています。成田空港が過去の遺物かのようになっています。今後の成田空港の位置づけがどうなっていくのか、県民は不安でいっぱい。まして、成田空港は、5万人の雇用があると言われており、千葉県の働く場所を保持しています。

**森田知事** 羽田空港の国際化は、アクセスの利便性や24時間化などをとらえて、活発に報道されていますが、両空港のネットワークを比較しても、成田の93都市に比べ、羽田は17都市であり、成田が国際線の基幹空港であること変わりはないと認識しています。

わが国の国際競争力の強化が急がれる中で、成田空港の使命と役割はますます重要となっています。県としては、30万回の合意を契機に、国内線拡充など空港機能の二層の充実に協力し、国際ビジネス機能の整備、



議場の自席から立ち上がり、再質問する伊藤県議

**伊藤議員** 羽田の問題が出たとき、成田市長さんをはじめ、周辺の首長さんが一丸となって、千葉県を抜くようにして国土交通大臣のところへ行っていました。

**森田知事** 県はこれまで、成田財特法などによる空港インバウンド観光の推進、企業誘致など、空港機能を活用した施策の積極的な展開によって、成田空港の地位の確立と地域の発展を目指してまいりました。

**伊藤議員** 周辺の公共施設整備に主体的に取り組むとともに、空港会社の民営化時や平行滑走路の北仲問題などの局面で、国への要望活動や覚書の締結などにおいて、主導的な役割を果たしてきたと認識しています。

また、30万回の合意に当たっても、積極的に地元説明会に出席し、地域住民の理解の促進に努めるなど、地元の立場に立って四者による合意確認書の締結に努めたところ。今後も、地元市町との連携を強固にしながら、地域づくりや環境対策等に対応してまいります。

**要望** 理系、文系にかかわらず、2年次にサイエンスコースを選択できるような検討してもらいたい。

## 理数教育の充実に努力

**伊藤議員** スーパーサイエンスハイスクールの千葉県での実績はどうか。茨城県のように、千葉県でもサイエンスコースを設置すべきと思うかどうか。

**県教育長** 子どもたちが科学に親しみ、創造的な能力を伸ばしていくことは、医学はもとより、わが国の科学を担う人材育成の基礎となるものであり、県教育委員会では、これまで理科の設置をはじめ、理数教育の充実に努めてきたところで。近年では、文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクールにおいて、先端技術に触れる、大学等トップクラスの研究者との交流など、先進的な理数教育の取り組みにより、例えば、昨年、県立船橋高校理数科の生徒が国際生物学オリンピックで、日本人初の金メダルを受賞するなど、着実にその成果を上げつつあります。

## がん予防への県民啓発

**伊藤議員** 日本人の高齢者の3分の1は、がんで亡くなり、2分の1はがんにかかるとも言われています。65歳以上の千葉県の高齢化率は、1961年には5・7%だったものが、2008年には21・8%と急速に増加しています。がん予防に関する県民への啓発をどのように進めてきたのか。

**健康福祉部長** 体の抵抗力を高め、がんをはじめとする生活習慣病の予防を図っていくためには、体質に合ったように進めてきたのか。

また、「生活習慣に関するアンケート調査」や「県民健康栄養調査」を行い、県民の健康状態や生活習慣を把握し、疾病予防や健康づくり施策の基礎資料とすることとしております。

## 医療改革で緊急提言

**伊藤和男議員**は、医師不足など地域医療の課題解決に向け、自民党県議35名からなる「千葉県地域医療改革戦略会議」を立ち上げました。伊藤議員は同会議の座長に推され、昨年11月に森田知事に対し医療政策の改革を求める緊急提言を行いました。

提言は、医療行政を行う「部」の新設と専門性の高い役職の新設、医師不足や救急医療整備に必要な新年度予算の確保などを求めています。